

平成23年度 事業計画書

○ 委託費関係

1. 先進国記者招聘

米国、英国、カナダ等先進国で活躍する第一線の論説委員、編集幹部、コラムニスト及び記者を11日間訪日招聘して取材機会を提供し、対日理解の促進を図る。

メディアの方針等により、外国政府の招待に応じない記者招聘事業。

2. プレスツアー

東京都心以外で取材する機会が少ない在京外国報道関係者に対し、我が国の実情を正しく理解させるとともに、日本関連報道に直結する情報を提供するため、日本各地でプレスツアーを実施する。

3. プレス・ブリーフィング

在京の外国プレスの対日理解を深めるため、政治・経済・社会・外交等の各分野で外国プレスの関心の高い「時局の課題」、また、日本から広報する必要のある課題等を取り上げ、専門家(大学教授・評論家)や政府関係者を招いて外国プレス向けにブリーフィングを実施する。また、日本記者クラブにおける閣僚等の重要会見に通訳を付けて当センター会見室でテレビ中継するサービスも実施。

4. ホームページの拡充

(1) FPCの活動を、包括的で簡潔、そしてより早く発信するため、昨年から月刊の「FPCニュース」をホームページ上でも発信開始したが、新年度からは地方自治体等と連携して各地のホットな話題を「列島レポート」として発信開始。今後とも内容の充実とスピーディな発信に努める。

(2) プレスツアーでは、ツアーの募集案内、事後報告を写真や動画を利用し、カラフルな形でホームページに掲載しているが、写真や動画も含め、より魅力的な画面作りを目指す。

(3) 従来出版物として刊行していた「Facts & Figures」や「Media Directory」はすでにホームページ上に掲載し利用の便宜を高めたが、今後とも内容の拡充に努める。

(4) ホームページ利用状況の分析をさらに拡充し、今後の改善に資する。

6. 取材のための会議

外国報道関係者の国内取材円滑化のため、国内関係団体等との連携を強化する。

7. アジア・プレスミッションの派遣

アジア各国の報道機関幹部と現地で直接接触し、当該国の報道機関や報道人の実態を把握すると共に、現地報道人の対日意識や関心を探るために職員を当該国へ派遣する。

○ 賛助会関係

1. 我が国からの対外発信の一助として、賛助会員と外国プレスとの接触の機会を提供するために各種の会合及び講演会を開催すると共に、賛助会員に対し、当センターで作成する各種の資料・情報を提供する。さらに、委託事業の補足として必要に応じ交流促進人件費、取材協力費及び資料協力費に会費収入を充当する。

2.. ジャパンブリーフ

外国人記者を主たる対象にしているが、海外の有識者、在外公館からの情報発信にも活用できるよう、日本で時局の課題となっている政治、経済、社会・外交等の問題を採り上げ、その背景を説明。

○ 資料特別会計関係

1. 在日外国報道関係者・駐日外交団並びに日本研究学者等にFPC刊行物を販売する。

○ 受託事業関係

1. プレスツアー及び記者招聘等の入札事業を応札する。特に、最近高まりを見せている地方自治体の国際的発信への意欲に応え、これに貢献するため、地方自治体との連携を重視する。